国立民族学博物館の研究

【機関研究】

機関研究は、国際性と機関間連携を重視した館全体が取り組む重点型の共同研究です。錯綜する現代的課題をターゲットにした新たな人文･社会科学を展開していくために、2つの領域を設定し、関連諸分野と協力しながら創成的な研究を行います。

【共同研究】

特定のテーマについて、公募も含めて館内外の専門家を数人から 20 人程度集めて研究会をひらき、2 ～ 3 年という比較的短い期間で成果をあげる活動です。2014 年度 6 月現在は、30 件の共同研究プロジェクトが 組織されています。また、10 月から新規の研究が開催される予定です。

【機関研究】

研究課題	研究代表者	研究期間（年度）
「包摂と自律の人間学」領域　代表：塚田誠之		
中国における家族・民族・国家のディスコース	韓 敏	2012-2014
「マテリアリティの人間学」領域　代表：寺田吉孝		
文化遺産の人類学──グローバル・システムにおけるコミュニティとマテリアリティ	飯田 卓	2013-2015
手話言語と音声言語の比較に基づく新しい言語観の創生	菊澤律子	2013-2015
民族学資料の収集・保存・情報化に関する実践的研究 ──ロシア民族学博物館との国際共同研究	佐々木史郎	2012-2014

【共同研究】

●は公募による実施課題、◆は特別客員教員（申請時）による実施課題

◎一般

研究課題	研究代表者	研究期間（年度）	
課題 1：文化人類学・民族学および関連諸分野を含む幅広い研究			
表象のポリティックス──グローバル世界における先住民／少数者を焦点に	窪田幸子	2013-2016	●
エージェンシーの定立と作用──コミュニケーションから構想する次世代人類学の展望	杉島敬志	2013-2016	●
聖地の政治経済学──ユーラシア地域大国における比較研究	杉本良男	2013-2016	
宗教人類学の再創造──滲出する宗教性と現代世界	長谷千代子	2013-2016	●
東南アジアのポピュラーカルチャー──アイデンティティ、国家、グローバル化	福岡まどか	2013-2016	●
近代ヒスパニック世界における文書ネットワーク・システムの成立と展開	吉江貴文	2013-2016	●
映像民族誌のナラティブの革新	川瀬 慈	2013-2015	
アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク社会の人類史的研究 ──資源利用と物質文化の時空間比較	小野林太郎	2012-2015	●
「統制」と公共性の人類学的研究──ミャンマーにおけるモノ・情報・コミュニティ	土佐桂子	2012-2015	●
熱帯の「狩猟採集民」に関する環境史的研究──アジア・アフリカ・南アメリカの比較から	池谷和信	2012-2014	
贈与論再考 ──「贈与」･「交換」･「分配」に関する学際的比較研究	岸上伸啓	2012-2014	
肉食行為の研究	野林厚志	2012-2014	
災害復興における在来知──無形文化の再生と記憶の継承	橋本裕之	2012-2014	●
触文化に関する人類学的研究──博物館を活用した " 手学問 " 理論の構築	廣瀬浩二郎	2012-2014	
パレスチナ・ナショナリズムとシオニズムの交差点	菅瀬晶子	2011-2014	
ストリート・ウィズダムとローカリティの創出に関する人類学的研究	関根康正	2011-2014	●
人の移動と身分証明の人類学	陳 天璽	2011-2014	
ネパールにおける「包摂」をめぐる言説と社会動態に関する比較民族誌的研究	名和克郎	2011-2014	●
NGO 活動の現場に関する人類学的研究 ──グローバル支援の時代における新たな関係性への視座	信田敏宏	2011-2014	
物質性の人類学（物性・感覚性・存在論を焦点として）	古谷嘉章	2011-2014	◆
グローバリゼーションの中で変容する南アジア芸能の人類学的研究	松川恭子	2011-2014	●
現代の保健・医療・福祉の現場における「子どものいのち」	道信良子	2011-2014	●
課題 2：本館の所蔵する資料に関する研究			
米国本土先住民の民族誌資料を用いるソースコミュニティとの協働関係構築に関する研究	伊藤敦規	2013-2016	
明治から終戦までの北海道・樺太・千島における人類学・民族学研究と収集活動 ──国立民族学博物館所蔵のアイヌ、ウイルタ、ニヴフ資料の再検討	齋藤玲子	2012-2015	
音盤を通してみる声の近代──台湾・上海・日本で発売されたレコードの比較研究を中心に	劉 麟玉	2011-2014	●

◎若手

研究課題	研究代表者	研究期間（年度）	
課題 1：文化人類学・民族学および関連諸分野を含む幅広い研究			
宗教の開発実践と公共性に関する人類学的研究	石森大知	2013-2015	●
再分配を通じた集団の生成に関する比較民族史的研究──手続きと多層性に注目して	浜田明範	2013-2015	
現代消費文化に関する人類学的研究 ──モノの価値の変化にみるグローバル化の多元性に着目して	小川さやか	2012-2014	
ランドスケープの人類学的研究──視覚化と身体化の視点から	河合洋尚	2012-2014	
「国家英雄」から見るインドネシアの地方と民族の生成と再生	津田浩司	2012-2014	●